

2月7日 大隅半島間泊クズレにて
私 48cm。50の壁は厚い!!

アオブダイなど

仕掛けが深く入り過ぎている

で、仕掛けを斜めに入れる工夫をするといひでしょう。例えば、道糸を張り気味にするとか、ガン玉を打つていたらその位置を上にするとか、大きいハリだつたら小さく、太軸のハリならば細軸にするとか、少し斜めにするだけでも状況は変わってきます。

また、ブタイは仕掛けが深く入り過ぎているので、浅く、今の時季なら半ピロ、一ヒロと浅くす

るようになります(約50cmずつ)。

カワハギは、潮がフラついているのを教えてくれます。このフラついている時の釣り方としては、私は釣る所を変えて対処しています(磯際とか、超遠投とか、要は、潮がある所を捜すようにしています)。(潮が行き出すとクロが釣れることが多いです。



Three 5.56mm NATO rounds are shown, each with 'WINCHESTER' and '7.62' markings on the casing head. The rounds are arranged in a triangular pattern on a textured surface.



感度良好
扱いやすく
遠投できる

釣研
ゼクト!!

A photograph of three men standing outdoors in front of a dark-colored car with its rear hatch open. The man on the left is wearing a light-colored vest over a white shirt and is holding a large, dark fish. The man in the middle is wearing a white and grey jacket and is also holding a large fish. The man on the right is wearing a blue jacket and is holding a large fish. All three fish are dark-colored with a silvery sheen. The background shows a wooded area with green trees. In the top right corner, there is vertical Japanese text. In the bottom left corner, there is a caption in Japanese. In the bottom right corner, there is a yellow license plate with the number '0-12' visible.

黒潮
強靱
サン
ブリ

当日の釣果
左から高山さんと下田さんは45超、喜作さんは50ジャスト1.8kg!!
おめでとう!!フィッシング南海さん(鹿児島市)で魚拓をとり殿堂入り!

0-12

デカイクロが釣りたい。数釣りではなく型狙い。私は、いつもそう思いながら釣りに行きます。口太なら50cm、2kgを目標に、足しげく磯に通っています。毎年のように釣つていますが、釣り上げた時は至福の喜びを感じます。

軟らかい竿、細い糸、小さい鉤、どれもギリギリのタックルバランスです。どこかつても、悪い所があれば一発で仕掛けが飛んでバラしてしまいます。そういうギリギリでないと釣れない掛からないのが今の乗っ込み時季です。

2月から3月にかけて、クロはひと回り大きく、そして丸みを帯びて脂をたくわえ、産卵をむかえます。神経質で気難しいクロ

ですが、何とかデカイク口を手中に収めるために、私なりに乗っ込みグ口を今一度考えてみようと思ひます。

普段、行っている磯のA級磯とかではなく、あまり人気のないような所が、案外穴場スポットに

ないような所、波気があると波をすぐ被つてしまう低い磯等、いろいろな有望ポイントがあります。

いクロの数が多いので、小型から良型、大型まで居るのが特徴です。小型、中型を釣っている間に、大型のクロは警戒してしまう恐れがあると思います。

それに比べ、穴場スポットは比較的に小型・中型が少なく、大型

の数が多い傾向にあります。私の場合はゴロタ浜が近くにある所、沈み瀬が点在している所などが大好きです。

《工サ盗り魚》

今の時季、水温が約15度前後ですが、今年は17度前後と、例年と比べると1度から2度ほど高め
で推移しています。なので、エサ盗
り（木っ葉クロ・スズメダイ・オヤ
ビツチャアブツテカモ等）がまだま
だ元気にはびこっている場所もあ

なっていることがあります。

例えば、港を出てすぐの浅い所の磯とか、ゴロタ浜が続いている中に、やつと乗礁できるぐらいの小さい岩場とか。沈み瀬が点在していて船が付けられないような磯。また、大きな磯場のあまり狙わ